Microsoft サービスで安全・低コストなAI 基盤を構築

自治体の業務での生成AI 活用！その２

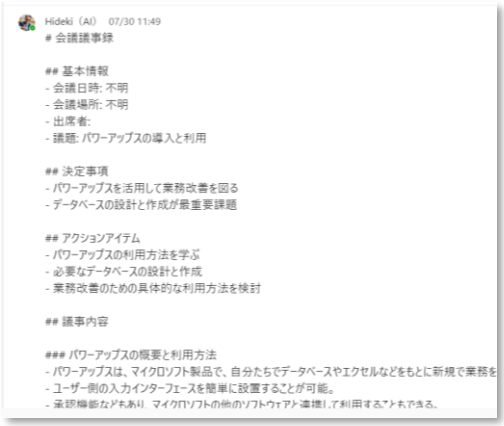
世田谷区では、職員が自ら構築した生成AI 基盤を活用し、業務の効率化を進めています。
このAI 基盤では、生成AI との自由な対話だけでなく、生成AI への指示文（プロンプト）を考えるのが苦手な職員でも簡単に使える機能を提供しています。今回は、特に便利な３つの機能をご紹介。

生成AI の便利な機能

01 会議メモの自動生成

オンライン会議の文字起こしは一般的になっていますが、その内容を整理して会議メモにまとめるのは意外と手間がかかります。文字起こしされた内容を専用チャットに貼り付けて送信するだけで、生成AI が以下のような項目を自動で整理してくれます。

- 会議の名称
- 議論の概要
- 決定事項
- アクションアイテム（対応すべき事項）



生成AI の便利な機能

02 やさしい日本語への自動変換

多様な読み手に情報を届けるためには、わかりやすい表現が重要です。この機能では、チャットに送信した文章を生成AI が平易な言葉に書き換え、漢字には単語ごとに読み仮名（ふりがな）を付けてくれます。日本語が母語ではない方や子ども、高齢者など、幅広い区民への情報発信にも役立ちます。

生成AI の便利な機能

03 Q&A の 自動生成

制度や手続きに関する「よくある質問（FAQ）」を作成するのは、意外と難しい作業です。この機能では、対象となる文章をチャットに貼り付けるだけで、生成AI が質問と回答のセットを自動で作成してくれます。職員の負担を減らしながら、区民への情報提供の質を高めることができます。

Next Action !

職員が作るからこそ、業務にフィットするAI 活用

職員自身が生成AI の技術や機能を理解することで、自治体業務のどの場面でAIが活用できるかを見極め、必要な機能を迅速に提供することが可能になります。新しい技術だからこそ、職員が知識やスキルを身つけ、活用の可能性を探ることで、大きな効果を生むことができます。今後も、生成AI をはじめとする技術を積極的に活用し、業務の効率化と区民サービスの向上を目指していきます。